

	北波多小学校 学校だより30号	北波多小だより	令和7年12月12日発行 文責 校長 川原 悟
---	--------------------	----------------	----------------------------

寒さを楽しむ元気いっぱいの子供たち

先週から気持ちのいい日が続いている半面、寒暖の差がとても大きく、体調を崩しやすくもあります。

このような朝、校門に立っていると、登校してくる子供たちからは、もくもくと白い息が立ち上り、一段と寒さが厳しくなってきたなということを実感します。子供たちの中には、「口から煙が出よよ」と、フーっと息を吐いて、面白そうに楽しむ子供たちの光景も見られます。

これから寒さがより一層厳しくなり、大人にとってみれば心配することも増えてきますが、子供たちは、反対に雪が降ったり、凍ったりすることを大いに楽しみながら登校してくる姿を見かけるようになってきます。そして、新しく発見した自然の不思議さに感心を持ち、嬉しそうな表情を浮かべて教えに来てくれます。このようなことは、子供たちにとっては大きな気づきや発見であり、だからこそ他の人に伝えたいという思いが強くなるのではないのでしょうか。その思いをしっかりと受け止め、大事にしたいものです。

これからも寒さに負けず、冬の季節を楽しみながら味わって欲しいと思います。また、寒い日は、安全のためにも手袋を活用した登下校に御協力ください。よろしくお願いします。



外部講師の方からとことん学ぶ！

2学期も学年に合わせ、多くの外部講師の皆様に来校いただき、子供たちのために御協力いただきました。

1・2年生では芋堀や焼き芋作り、3年生では北波多でとれる唐津茶の地域産業、4年生ではカヌー教室や性教育、5年生ではサウンドテーブルテニスや点字教室等の福祉体験、6年生では租税教室や平和講話等、多くの方々に関わっていただきました。学校だけでは学習することが難しいことも、外部の皆様と一緒にすることで、子供たちも職員も新しい発見があり、深い学びに繋がりました。

このように、外部から講師として入っていただくことは、子供たちの知的好奇心を高めることができます。そして、本物に触れ、体験する学習は、子供たちの学びをさらに深めることになっています。地域の資源を活かしながら今後も子供たちの学びをとことん深めていきたいと思えます。地域を愛し、地域の未来を創り出す子供たちへ成長することを願い、今後も取り組んでいきます。

